

会議録（要旨）

会議名称	第21回阿南市子ども・子育て会議
開催日時	令和7年2月3日（月） 15時00分～16時45分
開催場所	阿南市役所 6階603・604会議室
出席委員 （敬称略）	山口 亜弓、川上 志穂、犬伏 友美、古里 健一、折原 彰子、 横手 桂子、梶本 悦子、木内 啓嗣、上手 永子、渡部 友子、 片山 美幸、小西 嘉代子、佐々木 晃
会議内容	【開会】 【議題】 （1）「第3期阿南市子ども・子育て支援事業計画（案）」パブリックコメントの結果について <u>委員の意見等</u> 質疑なし （2）「第3期阿南市子ども・子育て支援事業計画」最終案について <u>委員の意見等</u> ・一時預かり事業について、少子化で預かり児の減少が予想される中、計画では、一時預かりと実施する箇所数が増えていく見込みとなっているが、この理由はなぜか。 ・放課後児童健全育成事業について、羽ノ浦小学校区と岩脇小学校区においては、令和7年度と令和8年度に見込み数が実施箇所の定員を上回っており、この4月に入所できなかったり、待機児童を抱えるといった現象が起きたりすることが予測されている。そのあたりへの対応は今後どのようにされていくのか。 ・基本理念で「こどもまんなか」を掲げるということで、基本目標の順番も子育て支援からではなく、子ども支援に関するものを1番目にしてはどうか。 ・計画を見ている中で、これまでと比較して変わった点や新たに取り組むことなど、あまり知識がない人が見てもわかりやすい表現にすることで市の取組を実感できるようになるのではないかなと思う。 ・子育て支援と言いながら、重点は大人に向けた支援が多いことに疑問に感じている。もう少し、子どもに対する支援として何があるのかをはっきり出すことで、子どもたちも取組を実感できるようになればいいと思う。 ・待機児童がゼロということで、復職しやすい環境にもつながっていると思う。このような動きが県内全体、日本全体に広がればいいと思う。 ・事業主の間でも子育てをする労働者に優しい会社にしていかなければ、労働者も減る中で事業が成り立たなくなるという話はある。自社で取り組むべきも

のもあるが、市の方からも意見交換の場や支援していただけることがあれば検討していただきたいと思う。また、それらが市だけでなく、企業など阿南市全体を巻き込んでできるような施策になればいいと思う。

(3)「阿南市教育・保育施設整備実施計画」案について

委員の意見等

- ・少子化の中で保育施設が6つまで減ること自体は仕方ないと実感している。一方で、現在の各施設は地域の皆さんと支え合いながら活動されていると思う。そのため、集約にあたっては地域の皆さんに「ありがとう」と「ごめんなさい」を伝えるやりとりは今後あってほしいと思う。
- ・集約した後も地域の人との関わりが続くことは、子どもたちの成長にもつながると思う。小・中学校には学校運営協議会、コミュニティスクールと言われる仕組みがあるが、就学前のお子さんたちにも何か影響し合えるような、支えられるような仕組みがあればいいと思う。

(4) 阿南市子ども・子育て会議について

(こども基本法に基づく市のこども計画を策定するため、委員の構成を見直したうえで、本会議を「阿南市こどもまんなか会議(仮称)」に改正することについて)

(5) その他について

○(1)から(4)までをとおして

委員の意見等

- ・委員の任期について気になっていたもので、そうした交代ということで納得した。是非より多様の方の参加によって、こどもまんなか会議ができたらと思う。
- ・保育の無償化で必ず就園率が上がる。これが保育所不足を招き、質の向上ではなく、量の拡大の方向に向かわないかすごく懸念している。今度は、こどもまんなか会議ということで、こどもを真ん中に据えてしっかりと議論していただきたい。

○保育所の利用定員の変更について

委員の意見等

- ・羽ノ浦くるみ保育所について、定員を調整するという話はあるのか。

○多様な集団活動事業についての質疑について

委員の意見等

- ・多様な集団活動事業に対する市の負担額について、子育て日本一をめざす阿南市であるならば、市が独自に負担している部分を、在宅で育てている子育て世帯や子ども自身に広くお金がわたるようにするべきではないのかということ市議会でも議論している。ぜひ、委員の皆さんにもお考えいただきたいと思う。
- ・就園していない子どもたちが、0歳児では60%、1・2歳児では約40%いるとされている。保育料を市が負担していることは、働いていて子どもを預けられている家庭にとっては、経済的に助かる施策ではあるが、施設を利用していない家庭にとって、15,000円のデジタルギフトだけで済ませていいのか、不公平ではないのかということ市議会でもぜひ検討していただければと思う。

	・阿南市全体の子どもたちをフォローできるような制度設計を今後していただきたいと思う。 ○阿南市こども家庭センターの設置について <u>委員の意見等</u> ・乳幼児健診はどこでするようになるのか。こども家庭センターが設置される本庁の2階なのか、それとも保健センターなのか。 【閉会】
--	--